第61回リグニン討論会
（京都・宇治）
The 61st Lignin Symposium in Uji, Kyoto

日時：2016年10月27日（木）～28日（金）
会場：京都大学宇治キャンパス　宇治おうばくプラザ きはだホール

共催：紙パルプ技術協会、日本木材学会、日本化学会、日本農芸化学会、繊維学会
協賛：高分子学会、バイオインダストリー協会

口頭発表：25件、ポスター発表33件
特別講演：坂　志朗　教授（京都大学大学院エネルギー科学研究科）
「超(亜)臨界流体技術によるリグノセルロースのトポ化学(仮題）」

口頭発表
ポスター発表
特別講演

ワークショップ：

（1）企画講演：リグニンの最新像と関連分野との連携
＜第一部：NMR法で見えてきたリグニンの最新像＞
「解析法の概要と樹木リグニンの化学構造的特徴」
秋山拓也　助教（東京大学大学院農学生命科学研究科）
「多様性と可変性：草本リグニン、種皮リグニン、組換え植物リグニン」
飛松裕基　准教授（京都大学生存圏研究所）
「リグニン-多糖複合体の解析と定量２次元NMR法」
西村裕志　助教（京都大学生存圏研究所）
「タイトル未定」
John Ralph, Professor, University of Wisconsin-Madison

ワークショップ
リグニンに関する
最新情報と基礎の
基礎について

＜第二部：関連分野からの話題提供＞
「カスパリー線の機能と形成」
神谷岳洋　准教授（東京大学農学生命科学研究科）
「リグニン由来含芳香族化合物群を利用した新規樹脂素材開発」
阿部英喜　チームリーダー（理化学研究所 環境資源科学研究センター）
「国産繊維質を用いた糖質プラットホーム構築に向けた技術開発の現状と新たな挑戦」
徳安　健　ユニット長（農業・食品産業技術総合研究機構）

（2）リグニン科学の基礎講座
会場ロビーにポスターを常時展示；ポスター発表時間中に講師による説明
講師：　高部圭司 教授（京都大学大学院農学研究科）
高野俊幸 教授（京都大学大学院農学研究科）
河本晴雄 准教授（京都大学大学院エネルギー科学研究科）

若手の会
（日本木材学会バイオマス変換研究会および同抽出成分利用研究会と合同開催）
日時：2016年10月28（金）～29日(土)
会場：アイリスイン城陽
講演会：
「バクテリアによるリグニンの最終分解システム」
上村直史 助教（長岡技術科学大学技学研究院）
「実験と量子化学計算を組み合わせた化学反応機構の解明」
細谷隆史 特任講師（京都府立大学大学院生命環境科学研究科）
「ゴマリグナン代謝、配糖体化酵素から代謝進化を考える」
小埜栄一郎 主任研究員（サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社）

若手の会
講演会
関連分野の
最新情報の講演

大会概要：http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/lmsfpm/Lignin2016/gaiyou.html
若手の会　http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/lmsfpm/Lignin2016/wakate.html
事前参加登録締切：2016年9月15日（木）（当日参加可）
若手の会参加申込締切：2016年9月15日（木）
発表申し込み：受付終了
連絡先：第61回リグニン討論会事務局：京都大学生存圏研究所　森林代謝機能化学研究室
〒611-0011　京都府宇治市五ヶ庄　TEL：0774-38-3627, E-mail：lignin@rish.kyoto-u.ac.jp